

# 日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

その他建築物編  
(新開排水機場)

令和2年3月

農村整備課

## 1. 対象施設

平成29年度末現在、農村整備課が所管するその他建築物は新開排水機場の1施設で、床面積は186.96㎡となっている。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	新開排水機場	日南市南郷町中村乙7051-585	186.96	1

## 2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとする。

## 3. 対策の優先順位の考え方

### (1) 施設の役割

新開排水機場は、農地内の湛水防止のため、流入水を危険なく地区外に排水する施設で、農地の保全や農家の安定経営には極めて重要な施設である。

### (2) 現状と課題

新開排水機場は、平成24年度から平成27年度の「農山漁村地域整備交付金水利施設整備事業」にて施設の更新をしているため、健全度が高い施設である。

今後は、更新した施設を最小の費用で長期にわたり健全に保つことが課題である。

### (3) 今後の施設の考え方

本施設は、農地の保全や、農家の安定経営には絶対に必要な施設であるため、今後も継続して利用することとする。

#### 4. 施設の状況等

##### (1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	新開排水機場	H2年度	27	RC	50	23	新	新	27	他

(注1) 平成29年度末現在の状況について記載

(注2) 複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数－経過年数[基準年度－建築年度]

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

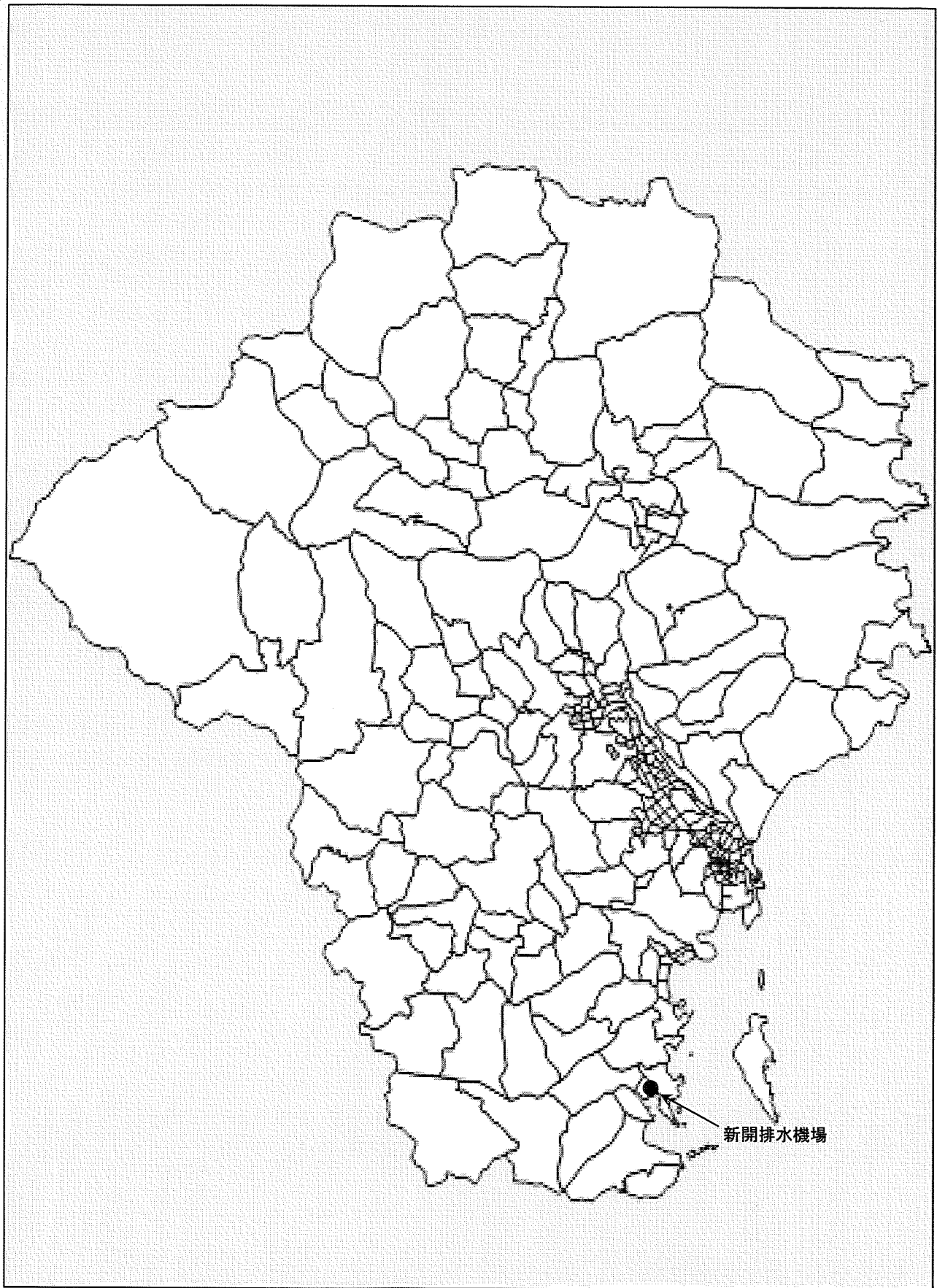
※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

##### (2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用者数 (人)
1	新開排水機場	186.96	—	—	4,700,993	25,144	—

(注) 年間コストは、過去3年間(H27～29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



## 6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

### (1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	新開排水機場	農地の湛水防止は、新開排水機での排水しか方法がないため、継続して利用する。

### (2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	新開排水機場	ポンプ棟	対策内容							
			対策費用							